

人権学習講演会

1月31日(土) 参加者53名

生涯学習事業



上田正之氏

テーマ:聴くことから始まる、やさしさづくり!

～つながりとは、やさしさが形になること。それが人権!

・数々の失敗が私に気づかせてくれたこと・

講師:庄原市社会福祉協議会 会長 上田正之氏

開会あいさつ。こんにちは、人権学習という堅苦しいというイメージがあります。これまでも、憲法の条文を引いて、法の下に平等で差別は許されない。生活保護法のもとになる健康で文化的な最低限度の生活を営む権利。それから、個人として尊重されて、自由・生命・幸福を追求する権利と9条戦争放棄の戦争はしない、ことをつなげての話。たしかに世界情勢をみると、平和でない、どんな人権も吹っ飛んでしまいますから、なるほど、と。

そんな話を聴いてきたように思います。しかし、日常の暮らしの中での人権の勉強は、そんなに多くはなかったように考えます。あの人の話はなぜか深いのは、正面から向き合って本質をわしづかみにされており、しかもエピソードをもっておられるからだと言われます。

今日は、そうした敬遠しがちな人権の話、普段着のままでお話していただけます。コロナ禍で地域は人々のつながりが薄くなったといわれますが、つながりというのは、やさしさや思いやりが形になったものだ。それが人権なのだ!と、チラシを読んで驚き、目の覚めるような思いがしました。

福祉活動を取り組まれておられる、上田正之さんならではの、そうしたお話を聴かせてもらえると、いまから胸がワクワクしています。よろしくお祈りします。



西城自治振興センター 2階 大集会室にて

西城自治振興区 会長 田村富夫

～講演会にいただいたご感想の一部を紹介します～

- ・大変素晴らしい講演内容でした。身近な事例で自己を見直すきっかけを得ました。ともすれば、生涯学習活動が多い自治振興区の中で、今回のような活動もとても大事な活動だと思っておりました。人権問題は幅が広く、且つ深いものと思いますが、地域の皆が思いやりを持って和やかな地域となるよう望みます。
- ・体験談、とても分かりやすく胸を打ち考えさせられました。経験から、今の自分に学ばせていただきました。
- ・とても良い話を聴かせていただきました。話す相手の方に自分の意見を押しつけてはいないか反省をしました。相手によりそった聴き役になりたいと思います。
- ・実体験の話には重みがあり、大変勉強になりました。受容がいかに大切なことか改めて気付かされました。マザーテレサの言葉は以前から大好きです。

寸劇・大好評!

1月23日(金) 参加者35名

社会福祉協議会主催



真に迫る演技



出演者によるカーテンコール

集まりの場の世話人交流会で、民生委員・西城自治振興区環境福祉部員の有志で作られた【劇団せわあ〜ない】による、老後の資金や住み替えなどの、西城で暮らし続けるための経済学を、楽しい劇にして上演されました。真に迫る演技で笑いあり涙ありの名演でした。その後の茶話会では、生き方ノートの紹介がありました。参加者から、今日の劇をいろいろな場で上演してほしいとの声が上がっていました。



参加者へ生き方ノートの説明

環境福祉部会(第4回)

1月29日(木)



あいさつをされる氏田部長

地域に小さな助け合いグループ(小サロン)を作ることを目的にし、9月25日、11月27日と社会福祉協議会について学び、集まりの場について、グループ討議を行いました。集まりの場が必要であることは参加者全員が一致しています。今回は今までの意見を基に話し合いをしました。世話人に負担がかからないようにすること。日頃からの声かけ、声かけのタイミングが重要との意見がありました。まとめとして、活動状況を周知していく。いろいろな集まりの場を選択できればよい。できることをできる範囲で。必要なところに必要な情報を伝える。SNSを使用してリアルタイムで情報をつたえるなど、活発な意見交換となりました。

芸備線が好き!

西城にたびたびお越しいただける芸備線ファンにお話を伺いました!

小さい時はただ電車が好きで近所の踏切へ電車を見に行っていた幼少期でしたが、中学、高校はいったん鉄道趣味から完全に離れていました。(〇〇系とか、〇〇線など、全くわからなかったです)ただ、大学に入学した際に、今までの自分とは違う世界、違う趣味の人たちと繋がってみるのも面白そうだなあっと思い、鉄道研究会(通称:鉄研)のサークルに入り、そこで様々な鉄道の趣味の世界、趣味の人たちを見たのが出発です。鉄研の活動では、全国各地を旅して、各地域の生活や風土も見てきました。

そうした中で、列車の写真を撮る(いわゆる撮り鉄)の世界にハマリ、写真を撮っていくうちに、今度は段々と写真そのものにも興味が湧いて、大学卒業後に写真の専門学校に通ってから社会人となりました。

初めて芸備線に乗ったのは2022年3月で、たまたま仕事で広島へ出張に来ており、広島～備後落合まで往復で乗車した際に、備後西城駅で途中下車して、町を歩いて周りました。その時に見た、西城町の風景が忘れられず、「ああ、また来たいな」と思い続け、ほぼ毎月のように通いだすのは2024年1月からです。

頻繁に通ううちに地元の方に顔を覚えていただき、西城町のお友だちもできて、いつも楽しく来ることができます。みなさん、本当に温かい方々で初めましての自分にも親身になって話を聞いてくださったり、お土産をいただいたり、毎回感謝の連続です。



写真の話が弾む、柴田さんと田村会長



柴田さんが撮影された西城の町並み

「あの時、車に乗せてくれたおじいちゃんはお元気かな」とか「あの時、お土産を渡してくれたおばあちゃんはどうしているかな」とか

「また会いたい。あの風景をまた見たい」
こんな気持ちにさせてくれる場所は、これまでの私の人生の中で初めてのことで、気が付くと、自分の住んでいる街より、私を知っている人が多いような気がします(笑)。

外から来た私が写真を撮っていると不思議そうに声をかけていただくことも多く、「こんな写真を撮っているんですよ」とお見せすると、とても嬉しそうなお顔をされて、誇らしげにお話しする姿がとっても印象的です。

写真を撮ることで、知らなかった地域、初めましての人とも繋がることできる。偶然の一致がたまたま西城町へ通うきっかけになったわけです。

柴田清貴 談
埼玉県鴻巣市在住

大屋新年会



西城市民病院 院長 郷力 和明氏

明けましておめでとうございます。大屋今櫛会では、毎年実施している新春講演会を、1月12日(成人の日)に西城市民病院長の郷力先生を招き「地域の包括医療と病院を取巻く問題」等について話して頂き、皆さん熱心に聞き入っておられました。その後は、インドネシアからの「株式会社ひばごんファーム実習生」によるバリ島の珍しい民族舞踊で会場が大変盛り上がりしました。



紫水高生の神楽

最後は、出演者の半数が西城紫水高校生で編成された西城神楽愛好会の舞を観賞しながら楽しい昼食を取り楽しい1日を過ごしました。大屋今櫛会 会長 岡田隆博 記

大屋今櫛会自治会



バリ島の民族舞踊

子ども会で伝統の「とんど焼き」開催

1月12日(月)

五日市公盛会自治会子ども会で「とんど焼き」を行いました。子ども会関係者は総勢20名弱。各家庭から持ち寄った正月飾りを燃やし、煙とともに、年神様をみんなでお見送りしました。



とんどの準備

前夜から雪が降り積もり、寒空の下でしたが、子どもたちは、とんど焼きで舞い上がった灰とともに、雪の中を元氣いっぱい走りまわり、雪合戦やそり遊びを楽しみました。燃え上がったやぐらの火で温まり、とんど焼きの火で焼いたお餅やチョコマロをいただいて、すっかり元氣を取り戻しました。その後、雪遊びを元氣いっぱい楽しみ、今年一年元氣に過ごせるようお祈りしました。



寒くても元氣いっぱいの子ども達

五日市公盛会自治会子ども会事務局 樋口智絵 記